

高病原性鳥インフルエンザの防疫を徹底しましょう！！

- ・ 国内で野生のアライグマから高病原性鳥インフルエンザの抗体が確認されました。
- ・ 農場における 野鳥や野生動物の侵入防止対策等、飼養衛生対策を徹底しましょう。

対策

畜舎の清掃
 飼料の整理・整頓
 生石灰等の散布
 防鳥ネットの点検
 捕獲装置の設置 等

アライグマの分布状況(環境省調べ)

- ・ 外来生物法に基づく特定外来生物に指定(2005年)され、各地で被害が生じている。
- ・ 捕獲数は、平成15年 約3,000頭、16年 約4,000頭、17年 約5,000頭と増加している。
- ・ ペットとして輸入されたものが野生化し、東日本を中心に全国に分布拡大中である。

愛知県でうずらに発生した高病原性鳥インフルエンザの状況(4月14日現在)

区分	発生場所	発生確認日	ウイルスの型	殺処分羽数	埋却・焼却	移動制限解除
1例目	豊橋市南大清水町	H21.2.27	H7N6亜型	257,500羽	埋却	H21.3.27
2例目	豊橋市高塚町	H21.3.4	H7N6亜型	204,300羽	埋却	H21.4.4
3例目	豊橋市杉山町	H21.3.10	H7N6亜型	109,000羽	焼却	防疫措置実施中
4例目	豊橋市西七根町	H21.3.15	H7抗体陽性	669,200羽	焼却	防疫措置実施中
5例目	豊橋市西七根町	H21.3.26	H7抗体陽性	135,000羽	焼却	防疫措置実施中
6例目	豊橋市西七根町	H21.3.26	H7抗体陽性	129,000羽	焼却	防疫措置実施中
7例目	豊橋市小松原町	H21.3.26	H7抗体陽性	91,600羽	焼却	防疫措置実施中

問い合わせは、山梨県東部家畜保健衛生所 Tel 055 - 262 - 3166 Fax 3108